

# 第1回 小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設運営連絡会 議事要録

日 時：平成30年12月15日（土） 午前10時から午前11時50分

場 所：小平・村山・大和衛生組合4・5号ごみ焼却施設 3階大会議室

参加者：7名

傍聴者：5名

## 1 開会

※傍聴者合計5名。

傍聴規定が未定であったが、出席者全員の了承のもと、傍聴を承認。

## 2 自己紹介

## 3 小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設運営連絡会について

※事務局(計画課長)が運営連絡会の趣旨及び要綱の説明。

《確認事項》

- ・構成員は団体を代表して参加しているので、各自治会やマンション管理組合に運営連絡会の状況を伝えてほしい。
- ・会議録は要録とし、広報紙やホームページで公開していく。
- ・会議の開催は、3月・9月の年2回（定例会）とし、そのほか必要に応じて臨時会を開催していく。
- ・次回は3月23日（土）、施設の内覧も含めて開催する予定。
- ・第3回（臨時会）の開催を5月から6月に予定。環境測定結果を示す。

【結果】

以下4点を衛生組合側が提示。

- ①要綱に記載されている事項について調整が図られた結果については実施していく。
- ②VOCについては、見やすい場所に設置予定の電光掲示板に表示する。
- ③搬出後のルートについては、今後の運用の中で調整を予定している。また、収集車の搬入時間が集中しないよう、各市と調整していく。なお、警察との調整を再度行い、次回連絡会で報告できるよう準備する。
- ④連絡会の運営に関しては、実際に会を進めながら改善していく。

[質疑等要旨]

(委員)

- ・地域住民とともに組合の方も会員で、お互いに話し合うということなので、調整事項については確実に実施していただきたい。
- ・施設について、VOC、騒音、悪臭等の環境に変化をもたらすと考えられる要因については常に監視し、何かあった時には迅速に対応願いたい。
- ・廃棄物運搬車両について、搬出ルートの分散化を検討願いたい。
- ・次回の連絡会は翌3月中に開催予定ということだが、それまでに諸々の事柄が決定事項として進み、施設稼働開始となることが懸念される。特に、交通関係については警察に対し地域の要望を伝え調整願いたいので、可能であれば翌1月か2月に、その結果を示してもらうために、連絡会を開催していただきたい。

→(衛生組合)

- ・要綱に記載されている事項について調整が図られた結果については実施する。
- ・環境対策については、地域連絡協議会でも不安との意見が出ていたので、規制はないが、VOCについては、見やすい場所に設置予定の電光掲示板に表示する。
- ・廃棄物運搬車両の搬入搬出ルートについては、“左折入場左折退場”が基本であると警察から指導されている。ただ、搬出後のルートについては考慮の余地があると思われるので、今後の運用の中で調整することを考えている。また、収集車の搬入時間が集中しないように各市と調整していく。なお、警察との調整を再度行い、次回報告できるよう準備する。
- ・連絡会の運営に関しては、実際に会を進めながら改善できる部分もあると考えている。

#### 4 議題

○正・副会長選出

【結果】

- ・決定せず。次回へ持ちこし。今回出席者からは立候補者なし。

○小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設について

資料「小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設について」により内容説明。

※Power Point を併用

【結果】

質疑等に対し以下のとおり対応。

- ・施設敷地内に待機スペースを設け、車両の公道待機回避対策を図る。
- ・制限速度遵守、清掃徹底により運搬車両の埃抑制対策を図る。
- ・必要な費用は掛けた、環境対策も健康被害対策も万全な施設である。
- ・もし、環境に影響を及ぼすとされている物質の抑制基準数値を超えた場合は、施設の稼働を停止し、“原因解明→改善確認”されるまで施設稼働させない。
- ・上記数値についての測定結果は様々な方法で公表する。
- ・上記数値をゼロに近づけることを目標とし、最も厳しい各種数値を準用する。
- ・施設引き渡しは、工期延長により、4月に延期される公算が大。
- ・大気測定について、ブランク（施設操業前）データとの比較は対応する。
- ・大気数値の測定頻度は、操業後の結果を考慮しながら決めていく。
- ・パッカー車の排ガス規制は、各市に伝え、厳守してもらう。

[質疑等要旨]

(委員)

- ・警察と協議をすでに行っているということは、通りが渋滞することについて考えているのか。  
我々が渋滞に巻き込まれることは避けてほしい。
- ・喘息のこどももいるので、車両通行による埃に対して対策をとってほしい。
- ・施設稼働して、子どもにアレルギーが出た場合は組合にも連絡した方が良いのか。
- ・この施設は予算ありきで整備したのか。

→(衛生組合)

- ・収集車両の台数は1日60数台。周辺への影響は軽微であると考えている。  
なお、車両の公道待機回避対策として、敷地奥（東側）に計量機を設置することで停車可能場所を設け、車両を敷地内に待機させ、公道に停滞しないようにする。

- ・制限速度での通行を指導する。交通に心配の声が多数あったので、初年度については、交通誘導員を配置し、仮に土をタイヤにつけたまま搬入してくる車両があれば指導し、道路が汚れていれば清掃する。
- ・組合は、健康被害の起こらない施設として自信をもって整備している。健康被害が起こったことが明確になったら、当方まで必ず連絡いただきたい。
- ・環境については最高のレベルのものを導入している。“予算ありき”ではない。

(委員)

- ・VOC等基準を超えた場合はどのように考えているのか。操業をとめるのか。
- ・数値について電光掲示板で表示もいいが、運営連絡会で報告したり、組合ホームページに公表することで地域住民が誰でもみられる形にしてほしい。

→(衛生組合)

- ・基準を示して表示するという事は、超えたら施設を止め、対策しないと動かさないという意思表示でもある。
- ・測定結果は公表する。

(委員)

- ・これだけ発生するだろうという数値は持っているのか。
- ・引き渡しは3月か。

→(衛生組合)

- ・基準以下で施設を運転することを条件に建設している。引き渡しの際の数値は示すことができる。仮に音など、基準値を超えていれば引き渡しは受けないこととなる。
- ・引渡しは、工事が遅れていて、4月になることも考えられるが、4月1日から施設の稼働は可能である。

(委員)

- ・規制の件。騒音、悪臭は規制値があるのか。VOCの規制値の設定基準はなにか。
- ・放射能汚染でもそうだが、各種数値はあくまでもゼロに近づけていくというのが大事。

→(衛生組合)

- ・この種の施設に対して法定されている基準値はないが、有機溶剤等を取扱う種類の工場には法定基準があるので、その基準の中で最も厳格に設定されている数値を準用する。各種数値を“ゼロ”に近づけるよう運転することは当然のことであると捉えている。

(委員)

- ・連続測定で測れるものと測れないものあるとのこと。その連続で測れないものについての測定頻度は。
- ・表示する際、ブランクデータとの比較があるとよい。一般的な大気との比較の対応を願いたい。

→(衛生組合)

- ・その測定頻度は、竣工後の検査結果をみて考えていきたい。
- ・ブランクデータとの比較については対応する。

(委員)

- ・パッカー車の排ガスの規制を守らせるようお願いしたい。

→(衛生組合)

- ・承知した。

○今後の小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設運営連絡会の運営について

【結果】

- ・衛生組合側が、会員から要望的な意見を聴き、それに対し説明・対応した。

※詳細は以下「質疑等要旨」参照

[質疑等要旨]

(委員)

- ・要綱については(案)としてほしい。要綱作成は、本来ならば行政と住民で作り上げるべきだと考える。
- ・参加者の中に構成市の職員は出てこないのか。

→(衛生組合)

- ・この連絡会は、要綱に賛同いただいた方に参加を依頼している。今回の範囲外の方でご意見があれば、お声掛けいただければ組合の担当職員で説明に出向かせていただく。
- ・「施設建設に必要な各種事務手続等の調整・決定」は4団体での調整事項だが、施設建設工事委託・運営は衛生組合の役割。そのため、施設の運営連絡会に構成市の職員を参加させる必然性はないと考えている。各市への意見があれば組合から伝える。

(委員)

- ・地域連絡協議会への参加対象地域は、施設から約800mであった。運営連絡会の参加対象地域が縮小された理由は。
- ・今後、連絡会は桜が丘市民センターでやってほしい。
- ・“VOC”という一括りではなく、個々の物質について計測して欲しい。
- ・運営連絡会は、要望が確実に実行されれば良いので会議の形でなくても良いと考える。
- ・各市の資源物の回収基準が統一されないとおかしいので統一してほしい。
- ・一定の約束事を文書化すべきである。最終的に締結文書を作る考えはあるのか。

→(衛生組合)

- ・800mは、地域連絡協議会の説明会の中でいただいた意見を参考に決定した。運営連絡会の参加対象範囲は、処理施設を景観上確実に目視できる範囲という点を優先し設定した。目視できる場所にあるごみ処理施設で、何をやっているかわからないのは当然不安であるだろうと考えたためである。また、車両が増える事は事実なので、そこを生活道としているであろう地域ということと、中島町の連絡協議会と同範囲ということで、設定した。
- ・環境測定は、個々の物質の測定も行う予定である。

(委員)

- ・交通は桜街道全体にも及ぶのでそこも範囲に入れるべきでは。

→(衛生組合)

- ・桜街道は、約何万台/日という車両が通行している。収集車両が影響を及ぼすとは考えていない。衛生組合としては、近隣の方の心配を解消していきたい。

(委員)

- ・中島町の連絡協議会に入れてほしい。

→(衛生組合)

- ・中島町の連絡協議会には意見を伝えたが、了解は得られなかった。